

日本一の ツル渡来地



日本最大のツルの越冬地である出水市には、毎年10月中旬から12月頃にかけて1万羽以上のツルが渡来し、3月頃まで越冬します。

ラムサール条約登録湿地 「出水ツルの越冬地」

ラムサール条約とは？

多様な生き物の生息地となる豊かな湿地を守り、「保全（再生）」「賢明な利用」「交流・学習」を推進するための国際的な条約です。

2021年「出水ツルの越冬地」がラムサール条約湿地に登録

2022年「出水市」が日本で初めてのラムサール条約湿地自治体に認証

ラムサール条約湿地自治体認証とは？

湿地の保全・再生・管理への地域関係者の参加、普及啓発、環境教育等に関する国際基準を満たしている自治体に対して行う認証です。

ラムサールブランド

国際的に認められた豊かな自然環境で生産・製造された農林水産物や加工品を全国にPRするために、「出水ラムサールブランドPRロゴ」の普及促進を行っています。



「出水ラムサールナビ」



ツルといさぎ、未来につなぐ。



万羽鶴が空を舞う圧巻の朝の飛び立ち

早朝には1万羽以上のツルが一斉に飛び立つ幻想的な風景を一望できます。天気が良ければ朝焼けに舞うツルたちを観ることができるかも！

出水に来るツル



マナヅル 絶滅危惧種
真鶴の名前が示すとおり本当のツルという意味で名づけられたようです。



ナベヅル 絶滅危惧種
鍋の底についたススのように黒い色をしているのでナベヅル（鍋鶴）と名づけられたようです。



クロヅル
個体全身が白い灰色をした中型のツルです。



カナダヅル
個体全身が灰色で頭頂部の赤色がポイント。生息数が世界で一番多いツルです。



ナベクロヅル
ナベヅルとクロヅルの雑種。1986年以後、出水平野で見られるようになりました。



ソデグロヅル 絶滅危惧種
個体全体がほとんど白色で、翼を広げたときその先端が黒く見えることから名づけられたようです。



アネハヅル
ツルの仲間でも最小な種。頭の飾り羽が印象的。ヒマラヤ山脈を越えることで知られています。



タンチョウ
全身が白色、首と翼の先端が黒色で頭頂部が赤い模様のツル。個体数が少なく絶滅が危惧されている。

ツルを 学ぶならココ



出水市ツル博物館 クレインパークいずみ

ツルについて学ぶなら、クレインパークいずみ！出水市に渡来するツルだけではなく、世界のツルについても学ぶことができます。また、敷地内の花公園では、四季折々の花が楽しめます！

- ◎ 出水市文化町 1000 ☎ 0996-63-8915
- ◎ 大人：330円 高校生・大学生：220円
- 小学生・中学生：110円 🅄 D-3
- ◎ 9:00～17:00 (最終入館 16:30)

ツルを 観るならココ



出水市ツル観察センター

ツルのねぐらの目の前にあり2階のパノラマ展望室や屋上展望所から、ツルの優雅な舞や餌をついばむ姿を間近に観察できます。朝日が昇る頃の万羽鶴の一斉の飛び立ちがおすすです。

- ◎ 出水市庄 2478-4 ☎ 0996-85-5151 (開所期間のみ)
- ◎ 越冬地環境保全協力金：普通車以下1台1,000円 🅄 C-2
- ◎ 9:00～17:00 (屋上は6:30から利用可・最終入館 16:30)
- 開所期間 11月1日～3月第2日曜日